

令和5年度 小笠原村校長会

I 活動方針・重点事項等

小笠原地区は、父島に小笠原小学校・小笠原中学校・東京都立小笠原高等学校があり、父島より約50キロメートル南の母島に、母島小中学校（併置校）がある。小学校長会としての独立した組織はなく、小笠原村校長会として、小学校、中学校、高等学校の校長によって組織されている。小笠原村教育委員会の教育目標を具現化するために、相互の連携を図り教育効果を高めるよう取り組んでいる。

- 基礎基本の定着と学ぶ意欲の向上
- 小中一貫教育の推進
- 小笠原学習の充実

II 活動・取組

(1) 定例校長会・校長連絡会

定例校長会は小笠原村教育委員会主催で、教育長、教育委員会事務局、小・中学校長、小笠原高等学校長をメンバーとして年5回開催し、伝達、報告、情報の共有等を行っている。

校長連絡会は月1回オンラインで実施。メンバーは小・中学校長で情報交換、事務連絡等を行っている。

(2) 小中一貫教育の推進

小笠原村では義務教育9年間の一貫性のある指導と継続性を備えた「小中一貫教育」を推進するために、小笠原村立学校小中一貫教育推進協議会を設置。協議会の下部委員会には①小中一貫教育研究推進委員会②デジタル教育推進委員会③義務教育学校準備委員会の3つの委員会を設置し、小中一貫教育に向けて具体的な検討・協議を行っている。

(3) 小笠原学習の充実

ここにしかない教育資源（自然・歴史・人材・風土等多様性のある文化や豊かな資源）を活かした「小笠原学習」の実践・開発に取り組んでいる。小笠原学習で学んだことを広く人々に発信することができる子供たちの育成を目指している。令和6年度には母島小中学校が、研究の成果を発表する予定。

(4) 東京都教職員研修センター島しょ地域研修支援事業、各種研修の推進

島しょ地域研修支援事業を積極的に活用し、年次職層研修、教科等研修、特別支援教育ブロック研修等の充実を図っている。オンライン研修も活用し、教員のキャリアプランに合わせて、研修を受けることができる体制づくりを行っている。

III 特色・特徴等

父島では秋に、小学校、中学校、高等学校が一堂に会し、連合運動会を実施している。母島では春に、保育園、小学校、中学校が合同で運動会を実施している。

